

公安委員会定例会議の開催状況

第1 日時 令和7年7月30日（水）午後1時30分から午後3時50分までの間

第2 出席者 前田委員長（司会）・松尾委員・刈谷委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・交通部長・警備部長・情報通信部長
首席監察官・総務参事官・地域参事官兼人身安全対処参事官・組織犯罪対策参事官

第3 議事の概要

[報告事項]

1 健康管理対策について

警務部から、健康管理対策について報告があった。

委員から、「生活習慣病対策としては、健康診断で要再検査又は要精密検査判定となった者が、その後、実際に精密検査を受けたかどうか、治療を行ったかどうかについて、職場側がしっかりとフォローアップしていくことが肝要と考える。」旨の発言があり、警察本部から、「ご指摘のとおりであり、要受診又は要精密検査判定の者については厚生課から受診するように指示しているところであるが、引き続き職場として職員の健康状態についてしっかりとフォローアップしていくことで、病気の早期発見・治療に結びつけていきたい。」旨の説明があった。

また、別の委員から、「職場でメンタルヘルス不調を起こさせないためには、職員一人一人が働きがいを感じることができる職場であること、職業人としての成長を感じることができる職場であること、人間としての成長を感じることができる職場であること、の3点が大切だと思う。職員同士や上司との間で様々なコミュニケーションを取ることができ、語り合うことができる関係性を組織内で一層醸成していただきたい。」旨の発言があった。

2 令和7年上半期の交通事故概況について

交通部から、令和7年上半期の交通事故概況について報告があった。

委員から、「交通事故発生件数が10年前の約3分の1に減少するなど、交通事故防

止対策や交通環境の整備など各種取組が着実に実を結んでいると思う。その一方、自転車事故死者の増加や自動車専用道路における死亡事故の続発など、まだまだ課題も多く、危険性の高い違反行為に対する重点的な指導取締り等を徹底していただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「自転車の死亡事故を抑止するためには、ヘルメットの着用率を上げることが最も重要であり、交通ルールの周知と併せて徹底していただきたい。」旨の発言があった。

3 第72回よさこい祭り等に伴う雑踏警備について

警備部から、第72回よさこい祭り等に伴う雑踏警備について報告があった。

委員から、「今年は特に猛暑が続いており、踊り子や観光客から熱中症患者が出る事態も危惧されるが、県民を守る立場にある警察職員自身が熱中症になることのないよう、暑熱対策を十分に行って警備従事していただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「高知県民にとって最大のイベントであるよさこい祭りは、毎年多くの人出で盛り上がる一方、人が集中することで不在を狙った空き巣などの犯罪発生も懸念される。」旨の発言があり、警察本部から、「空き巣など想定し得る犯罪について、警戒心を怠らず初動対応に抜かりのないようしっかりと対処してまいりたい。また、会場周辺においては盗撮等への警戒態勢も敷いて対処することとしている。」旨の説明があった。

4 令和7年上半期の機動警察通信隊の活動状況について

情報通信部から、令和7年上半期の機動警察通信隊の活動状況について報告があった。

委員から、「通信部門は、捜査をはじめ様々な警察活動の生命線と言え、通信の体制と環境を確保することが非常に重要であるので、引き続き訓練等を通じて機能向上に努めていただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「南海トラフなど有事の際にも通信の果たす役割は大きく、本年6月に実施された高知県総合防災訓練など、関係機関が連携して平時から訓練を重ねていくことで練度が高まり、県民の安心にも繋がると思う。」旨の発言があった。

第4 個別決裁

- 公安委員会に対する苦情の申出にかかる調査結果及び申出者に対する回答について
公安委員会事務室から、公安委員会に対する苦情の申出にかかる調査結果及び申出者に対する回答について説明があり、回答案について原案のとおり決定した。